

要 約

試験委託者

環境省

表 題

ジイソプロピルナフタレンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

A 0 4 0 5 3 7

試験方法

本試験は「新規化学物質等に係る試験の方法について<藻類生長阻害試験，ミジンコ急性遊泳阻害試験及び魚類急性毒性試験>」（薬食発第1121002号，平成15・11・13製局第2号，環境企発第031121002号，2003）に準拠して実施した。

- 1) 暴 露 方 式 : 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 2) 暴 露 期 間 : 96時間
- 3) 試 験 濃 度 : 対照区，助剤対照区，0.140 mg/L
(試験液調製可能最高濃度の限度試験)
(設定値) 助剤濃度一定：100 μ L/L (N,N-ジメチルホルムアミド使用)
- 4) 試 験 液 量 : 5.0 L/容器
- 5) 連 数 : 1 容器/試験区
- 6) 供試生物数 : 10尾/試験区
- 7) 試 験 温 度 : 24 \pm 1 $^{\circ}$ C
- 8) 照 明 : 室内光，16時間明 (1000 lux以下) / 8時間暗
- 9) 分 析 法 : 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

試 験 結 果 :

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、試験液調製時において82～93%、24時間後において42～56%であった。濃度減少の主な原因は揮発によるものと考えられた。

2) 96時間暴露後の半数致死濃度 (LC50) : >0.093 mg/L (95%信頼区間: 算出不可)

3) 96時間暴露後の0%死亡最高濃度 : >0.093 mg/L

4) 96時間暴露後の100%死亡最低濃度 : >0.093 mg/L